

ホームページへの掲載		
済	7月 10日	掲載予定

岐阜県立岐阜城北高等学校

学校長 赤坂 和之
学校住所 岐阜市三田洞456-1 電話 058-237-5331

- 1 会議の名称 学校評議員会 (第1回)
- 2 会議の構成
- | | | |
|----|---------|----------------|
| 委員 | 井深 孝敏 様 | 三田洞第3自治会 代表 |
| | 菊池 啓子 様 | 中部学院大学短期大学部 教授 |
| | 小泉 宣昭 様 | 岐阜北ロータリークラブ |
| | 河野 隆 様 | はなぞの北幼稚園 園長 |
| | 藤吉 礼三 様 | 元PTA会長 (欠席) |
- (委員名は五十音順)
- | | | |
|-----|-------|----------|
| 学校側 | 赤坂 和之 | 校長 |
| | 宮田 慶美 | 教頭 |
| | 後藤周太郎 | 教頭 |
| | 三輪 英明 | 事務長 (欠席) |
| | 森 公彦 | 教務主任 |
| | 岩井 順子 | 生徒指導部長 |
| | 佐野 康雄 | 進路指導部長 |
| | 車戸 祐介 | 総合学科長 記録 |
- 3 会議の目的 学校運営や教育活動について、地域や関係機関の方から要望や意見を聞き、特色ある学校づくり、地域に貢献できる学校づくりを目指す。
- 4 会議の開催 令和元年6月26日(水) 13:30~15:30 岐阜城北高等学校校長室
委員4人と学校側7人が出席(藤吉様と三輪事務長は所用のため欠席)
(1) 学校長の挨拶(委嘱状の交付)
(3) 授業参観(第5限)
(4) 出席者自己紹介
(5) 協議
①学校経営方針と計画
②各分掌の取組
③本校への提言

5 会議の概要

- | |
|--|
| (1) 学校概要及び学校運営の方針について
①令和元年度学校経営方針、学校経営計画
②各分掌の取組について(教務部、生徒指導部、進路指導部)
③授業の取組 |
|--|

指導の方針

[学校長]「生徒一人一人の学習活動の育成を推進する」観点から少人数授業などを展開している。今年度、エアコンの設置がなされたが、すべての教室ではないことから、エアコンの設置状況をはじめ、学習環境に差がある。今後の課題となっている。

「地域産業の担い手育成総合事業」の指定を2年間受けた。

校内に最近、手すりを設置した。今年度、総合学科に車いすを使用する生徒が入学している。「合理的配慮」により、保護者からの要望を含め、環境を整備中である。周囲の生徒の人権意識の向上にも繋がっている。

PTAの方が非常に協力的であることが本校の特徴でもある。行事等に対して支援がいただける。地域になくてはならない学校としての教育を今後も展開していきたい。

[教務主任] 家庭学習調査を年2回実施している。「本時の目標」「まとめ」を明確に示し、授業を行っている。また「授業評価アンケート」を実施し、分かる授業を展開することを目指している。各項目において80%以上となることを目指している。

年に2回、公開授業週間を設定し、先生方が他教科の授業を見学できるよう配慮している。先生方には、3人の先生方の授業を見学することを依頼している。

ICT環境の整備がなされており、今後、普通教室にホワイトボードやプロジェクタ、タブレットパソコンが導入される。今後、それらを生かした授業を計画したい。

[生徒指導部長] いじめの早期発見、暴力をなくすことを念頭に取り組んでいる。迷惑調査は年3回実施しており、その調査から担任・教育相談担当が中心となって、生徒に寄り添って話を聞くことを心がけている。遅刻は減っていないのが現状である。なお、寝坊が多くの理由となっているが、心や体の問題もあるように感じる。交通事故については、昨年度19件発生しており、今年度はこれまでに3件発生し、2件は救急車で搬送された。交通ルール・マナーを遵守させることを徹底したい。

[進路指導部長] 早期にキャリアをどのようにして描かせるかを念頭に取り組んでいる。本校は、卒業生の約3割・70名が就職、170名が進学している。

1～3年にかけて進路ガイダンスを実施しており、進学のみならず、会社でどんなことをやっているかといった内容も行っている。

現高校2年生から入試制度の改善が行われる。それらに対応できるような力や資料作りを行っており、基礎学力診断テストの導入をはじめ、英語の民間試験に対応した、話す力の育成にも力を入れている。

意見 1 「少人数授業」を見させていただいた。生徒の力に合った授業を先生方が展開されている様子や個を大切にしている授業を拝見できた。

家庭科の科目「子ども文化」を拝見したが、授業のなかで、身だしなみの確認・指導がなされていた。礼儀の指導においても、掲示物を作るなど、授業を行う上で配慮がなされていた。

岐阜城北の卒業生が本学にも在籍しているが、リーダーシップをとって頑張っている。

専門性があり基本的な生活習慣が身に付いており、少人数教育の成果かと思われる。

意見 2 教務の授業評価において、その結果の公開は行っているのか？内部だけか？

[回答] 外部への公開は行っていない。

意見 3 出口の確保も重要であるが、入学時の志願倍率はどうなっているのか？

[回答] ここ数年は、定員をわずかに超える程度の志願者が集まっている。倍率は1倍をわずかにこえるほどで、定員割れはない。

意見 4 退学率はどうか？

[回答] 昨年は、退学・転学者は全学年で5名程度であった。

意見 5 生徒評価アンケートは、非常勤や講師の先生も含めてか？

[回答] そのとおりである

生徒指導部 時代の変化とともに校則を変える必要があり、資料のとおり、変更を予定している。校外のことまで学校で規定することはなく、外出についても午後10時までに帰宅することのみ記載したい。身だしなみについては、集会時にネクタイ・リボンをつけるなどの規定があったが、夏の暑さのこともあり、見直しをはかりたい。なお、女子のスカート下の防寒対策として黒のタイツの導入を認めた。

[学校長] いわゆる「ブラック校則」の見直しであり、人権を侵害したり、形骸化している規定の見直し、また、時代にそぐわないもの、あるいは学校が家庭の責任まで追っているようなもの、働き方改革も視野に入れ、見直しの検討を行っている。

なお、黒タイツなど、生徒からの要望を受け、アンケートを実施したうえで生徒自身が校則を変えていった項目もある。全体をご覧いただき、ご意見をいただきたい。

—特にご意見はなかった—

意見 6 授業・教室を久しぶりに拝見させていただいた。少人数教育の授業・選択制の良さを感じた。わが社の従業員、とりわけ、若い世代の従業員は、昔と比べて資質が違っていると感ずるところがある。

意見 7 自宅が学校のすぐ前ということもあり、委員を務めさせていただくようになり、昔より関心を持つようになった。岐阜城北高校の活躍は新聞記事で見せてもらっている。朝も6時半に学校に来る生徒がおり、大きな声で挨拶を交わしてくれる。

- 意見 8 幼稚園や保育の現場は人手不足の状態である。特に現場で困っているのは、ピアノの問題であり、小さい時から習われなくなったり、系統的に続けている方が少ない。ぜひ、今回参観させていただいた生徒の皆さんには、幼稚園教諭になってほしいという願いがある。
- 意見 9 パワハラやセクハラなど、会社側も何かと厳しい時代となり、手を出すこともご法度。言葉の使い方も気をつけないといけない。指導の仕方も変わり、会社における社員教育の仕方も変わった。何かあるとすぐに訴えられる時代となった。学校教育においても気を付けてやっていかないといけない時代ではないか。

6 会議のまとめ

- ・生徒の実態を知っていただきたく、本日は授業参観を計画した。
- ・本日いただいた貴重な御意見・御助言を今後の教育実践に生かしていきたい。また引き続き様々な場で御意見をいただきたい。